

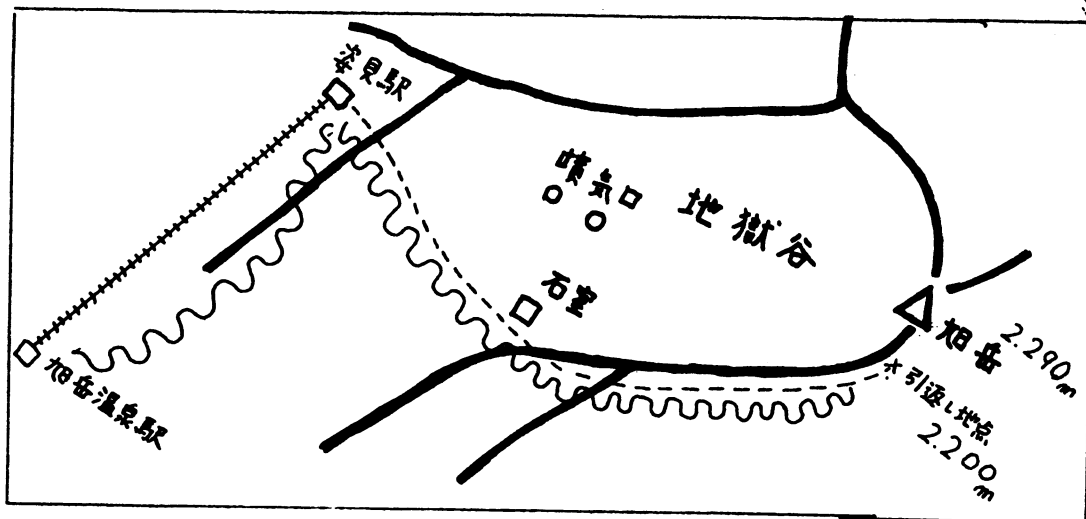
旭岳の外輪の急登はクトーをつけたが、傾斜がきつく、ついにはスキーをデポし、ツボ足で登る。

2,200 m地点で、帰路の滑落の不安から、登頂を断念して引き返す。滑降開始時はかろうじて雪面を確認できたが、少し滑ると雪面が確認できなくなり、高低の差がわからなくなる。

横滑りを多用して下るが、最後は完全に空中に浮いた感じとなり、ターンするたびに転んでしまった。

姿見の駅に着いたときには、心底ホッとした。長い休息後、降りしきる雪の中を、整備されたコースを快適に滑り、旭岳温泉に到着した。（記・三浦正男）

[タイム] 姿見駅(9:05)→旭岳石室(9:20)→2,200 m地点(10:45)→姿見駅(11:55)



栗子山塊白石川流域の沢

実沢右俣 1996年6月29日

L.

左俣が丸い大きな岩の上から流れ落ちる滝となって合流する二俣からは、流れ

